

多細胞システム形成研究センターの発足に寄せて

11月21日付けで、「研究不正再発防止をはじめとする高い規範の再生のためのアクションプラン」に沿って発生・再生科学総合研究センターを多細胞システム形成研究センターに再編することとしました。国の科学技術政策が重要な分野の一つと位置付ける発生再生科学分野の研究開発を、中期目標及び中期計画に沿う形でより強力に推進してまいります。

同分野における理研としての中長期的な研究の方向性の検討及びその活動を率いる国際的水準の新センター長の選考については、年度内を目途に行っているところであります。現センター長の竹市雅俊については、数年来、センター長職を後進に託したいという希望を表明していたことも踏まえ、特別顧問に任命し、同分野における研究開発の助言に当たらせてます。これに伴い、当面の間、生命システム研究センター長の柳田敏雄に多細胞システム形成研究センター長の職務代行を兼務させることとしました。

多細胞システム形成研究センターの運営にあたっては、科学的基礎・応用のバランスを考慮しつつ、かつ理研内研究センターのみならず、地元、他の研究機関や大学、産業界との連携にも十分配慮して、最大の成果が得られるように努めてまいります。

平成 26 年 11 月 14 日
理事長 野依 良治